

無知が誤解を生みます

ある保育科生の携帯から以下のメ - ル。皆さんはどう返信しますか、お聞かせ下さい(携帯故に字数制限あり)。

「今日、小5の弟と母がこのような話しをしていたんです。弟 「友達の家の方に障害者の人がいきなり入って来たんだって。こえ～！」母 「それはこわいねえ、なにをするかわかんないしね」 etc...。一年前のわたしならきっと一緒に「こわい」と言っていたと思うのですが、

今の私は阿部先生の授業を受けて考えが変わりました。だから障害を持っている人こわいとかそういうふうに思ってほしくなくて、障害をもっていることは特別なことじゃないということや、自分たちも障害をもつて生まれてくる可能性もあったということ、障害のある子どもをもっているお母さんは必死になって育てていることなど力説しました。しかし弟にはあっけなく「でも実際こえ～よ。」と言われてしまいました。

昔はわたしもそう思っていたので弟の言ってることもよくわかるのですが、その友達の話しを聞いただけで「障害をもった人 = こわい」と思ってほしくないなと思いました。こういうときはなんて言えばいいんですかねえ？むずかしいです。私なんかの説明でも少しは弟に伝わってほしいなと思うのですが...

僕は以下のように返信しました。

「突然大人が家に入ってくれば、弟の友がびっくりし、怖いと思うのは子どもの自然な感情かと思います。結果として、その方が障害者であったということだろうと思います。

障害児・者を怖いと思わないように貴女が必死で話して下さったことに、弟さんは「あっけなく、でも実際こえ～よ。」といったとしても、何かは伝わったと思います。これからは機会ある毎に弟さんに話し続けてください。

一度の話で障害児・者のことを全て理解してもらうことは、大変難しいことです。ですから、私も授業というような機会でも、話し続けています。貴女が理解して下さったように、少しずつ理解者が増えてくれればと思っています。また、障害児と実際に係わると、誤解も溶けて行きます。機会があれば、弟さん共々、接してみてください。我々も同じこと、係わり合うことで相手をより理解することが可能です。

「人間にとって、本当に怖いものは無知」という言葉があります。無知が誤解を生みます。ですから、弟さんに機会ある毎に話して上げて下さいね。」